

### 3 - 1 最近の関東・東海地域における地震活動 (1979年11月 - 1980年4月)

#### Recent Seismic Activities in the Kanto-Tokai Area (November, 1979 - April, 1980)

国立防災科学技術センター  
National Research Center for Disaster Prevention

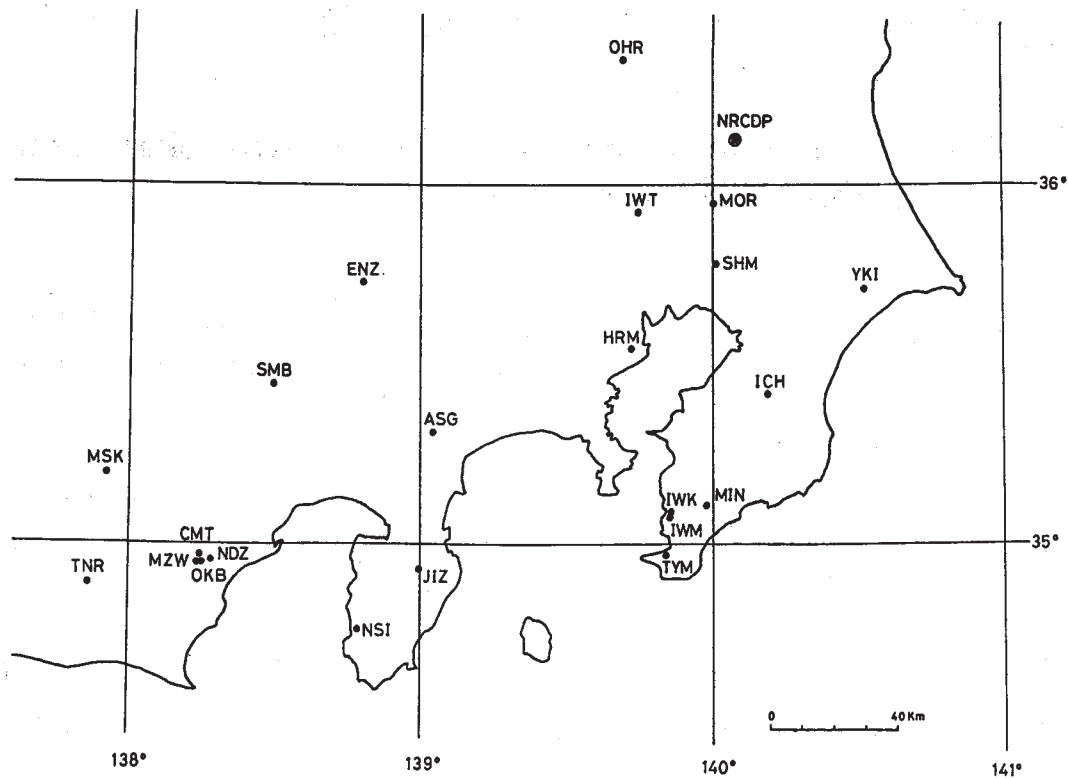
第1図は防災センターの観測点配置とステーション・コードを示している。55年6月現在では、これ以外に新たに8観測点が追加されて稼働しているが、この報告では、そのデータはまだ使用されていないので、新設点の紹介は次の機会にする。

第2図は各観測点での日別地震回数を示している。大平(OHR)観測点においては人工発破が多く、これを除くために日中の6 - 18時の時間帯は除いてある。図示された期間で、地震回数の上から特に述べるべき事はない。

第3図はこの間の月別震源分布図である。観測網の coverage と震源決定法については、前報を参照されたい(防災センター, 1980a, b)。1979年11月 - 1980年4月の期間では特に大きな地震活動は指摘出来ないが、1979年7 - 10月の期間の活動についても述べてあるが(防災センター, 1980b), 岐阜・長野県境の御岳山付近の活動は依然として継続している。また、駿河湾周辺, 伊豆, 山梨県東部でも散発的地震活動が見られる。まえの4ヶ月の活動と比較すると、東京湾北部・千葉市付近および茨城県から鹿島灘周辺の活動が高いようである。

#### 参 考 文 献

- 1) 国立防災科学技術センター：防災センターの関東・東海地域における微小地震・地殻傾斜観測網, 連絡会報, **23** (1980a), 134 - 138.
- 2) 国立防災科学技術センター：最近の関東・東海地域における地震活動(1979年7月 - 10月), 連絡会報, **23** (1980b), 139 - 143.

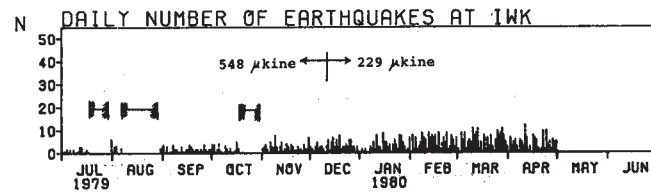
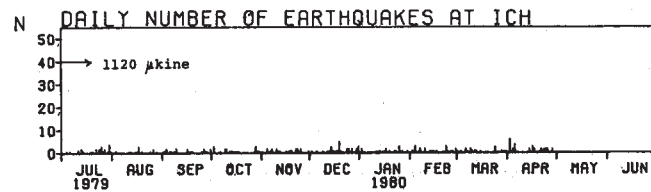
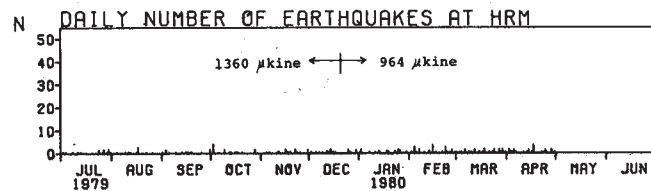
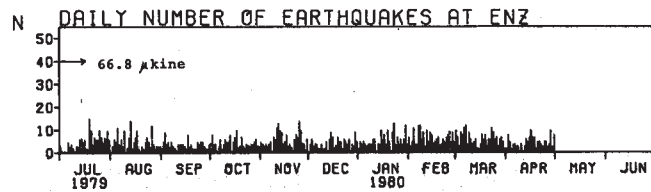
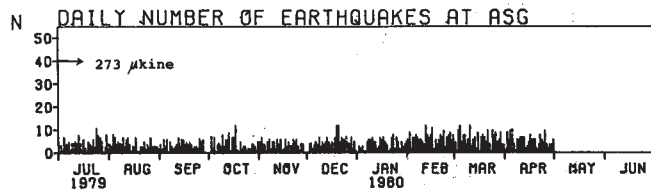


第1図 防災センターの観測点分布

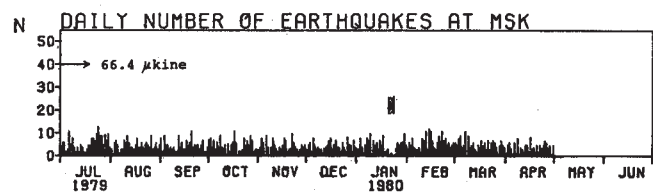
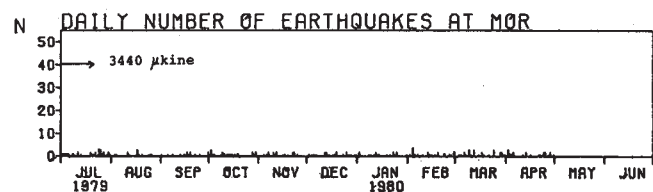
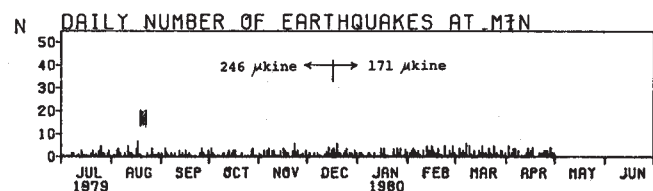
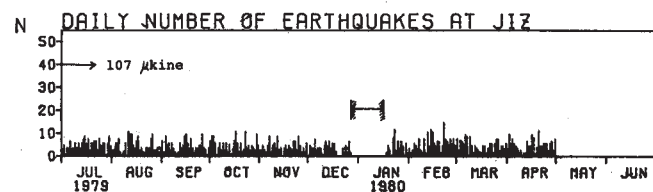
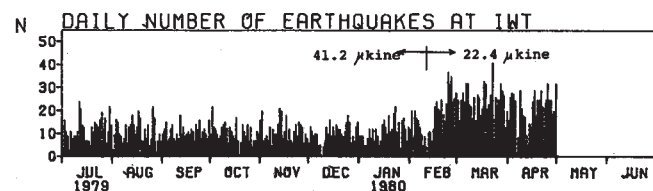
ASG : 南足柄	CMT : 近 又	ENZ : 塩 山
HRM : 川 崎	ICH : 市 原	IWK : 岩井北
IWM : 岩井南	IWT : 岩 槻	JIZ : 中伊豆
MIN : 嶺 岡	MOR : 守 谷	MSK : 水 窪
MZW : 的 沢	NDZ : 野田沢	NSI : 西伊豆
OHR : 大 平	OKB : 岡 部	SHM : 下 総
SMB : 下 部	TNR : 天 竜	TYM : 館 山
YKI : 八日市場		

Fig. 1 Distribution of the NRCDP stations.

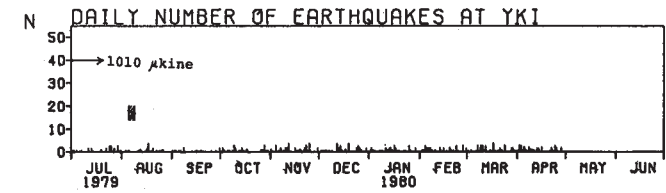
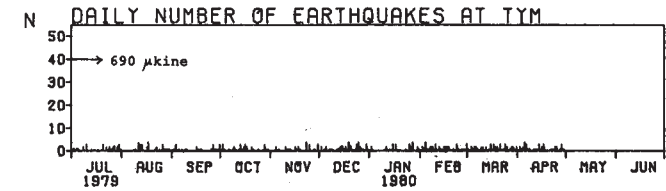
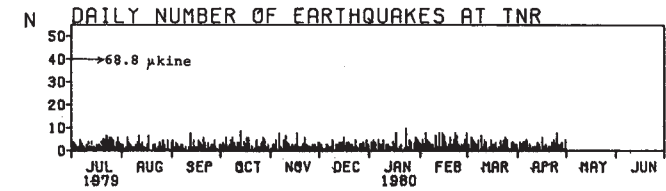
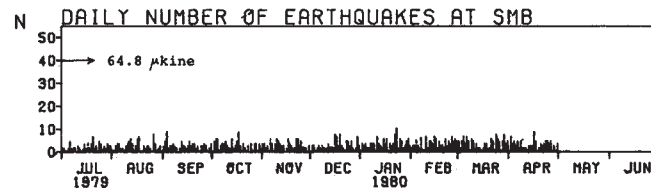
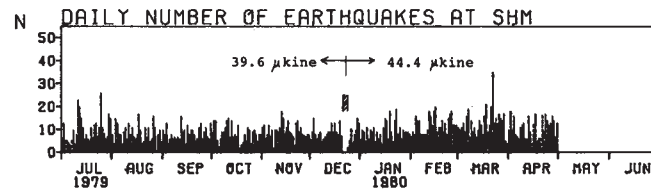
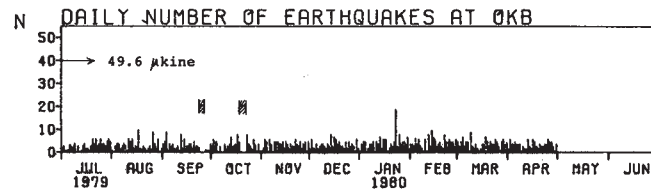
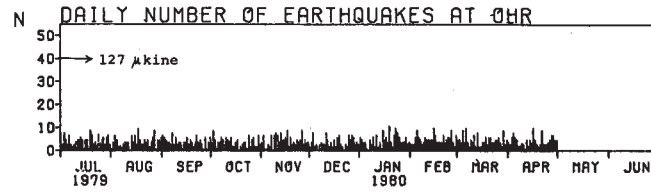
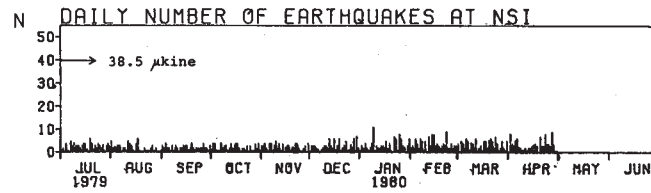
ASG : MINAMI-ASHIGARA	MSK : MISAKUBO
CMT : CHIKAMATA	MZW : MATOZAWA
ENZ : ENZAN	NDZ : NODAZAWA
HRM : KAWASAKI	NSI : NISHI-IZU
ICH : ICHIHARA	OHR : OHHIRA
IWK : IWAI-KITA	OKB : OKABE
IWM : IWAI-MINAMI	SHM : SHIMOHSA
IWT : IWATSUKI	SMB : SHIMOBE
JIZ : NAKA-IZU	TNR : TENRYU
MIN : MINEOKA	TYM : TATEYAMA
MOR : MORIYA	YKI : YOHKA-ICHIBA



(1)



(2)



(3)

第2図 日別地震回数

(4)

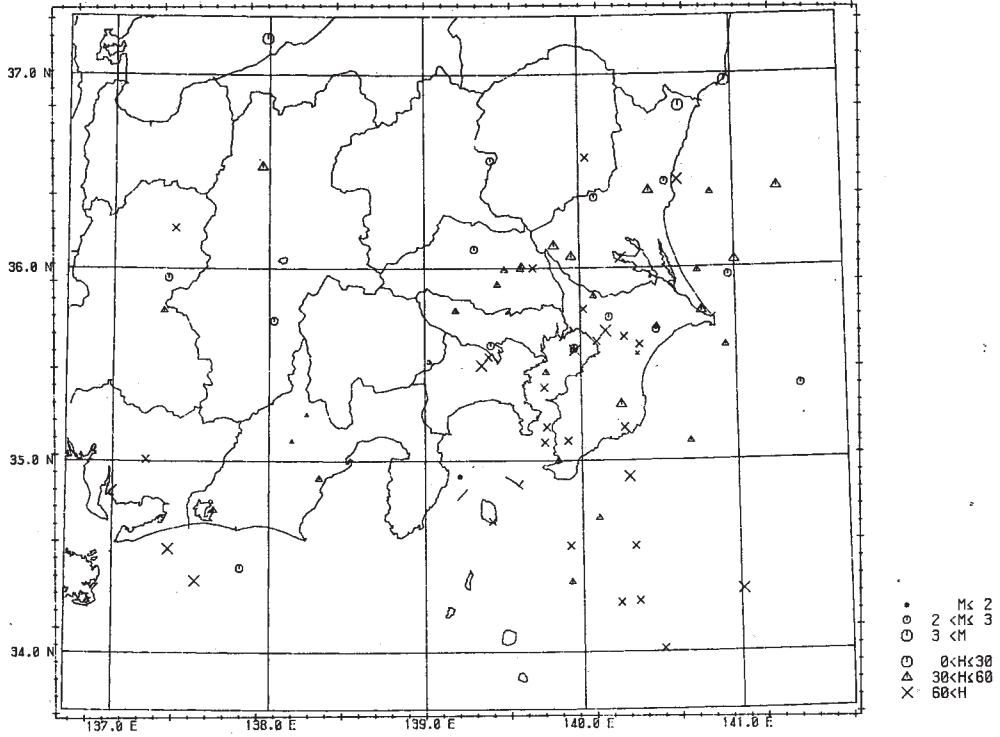
数値は片振幅の値で地震計数時のスレッショールドレベルを示す

↔ : 長期欠測, 1日以内の欠測は破線

Fig. 2 Daily frequencies of earthquakes.

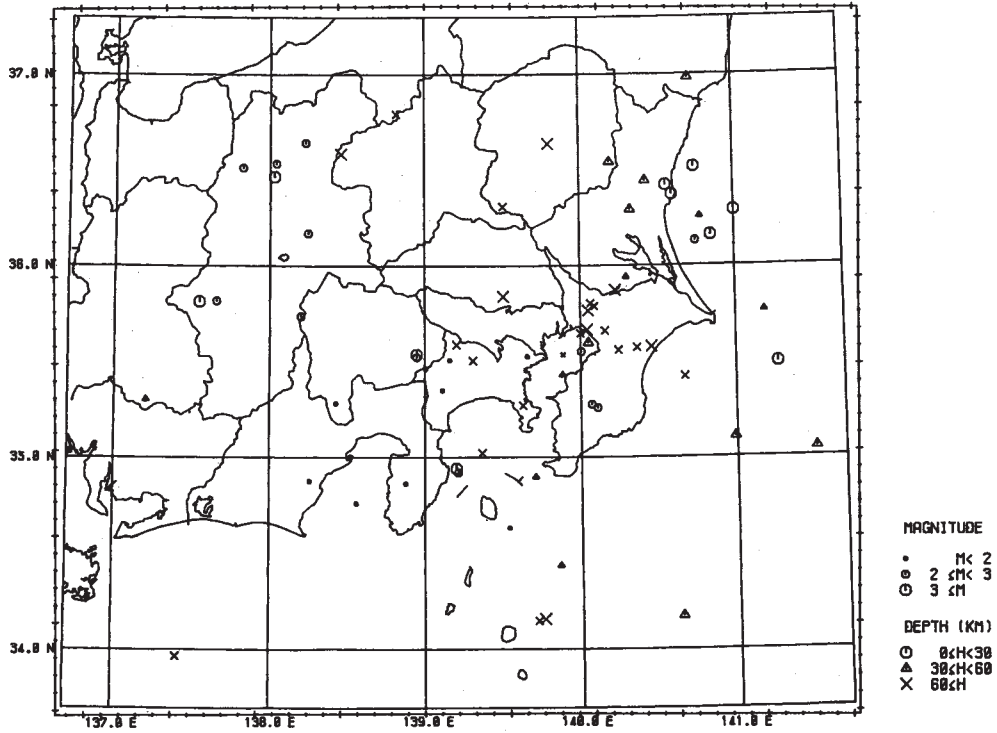
Numerals are threshold levels of amplitudes for counting the number of earthquakes.

791101 - 791130 N= 78



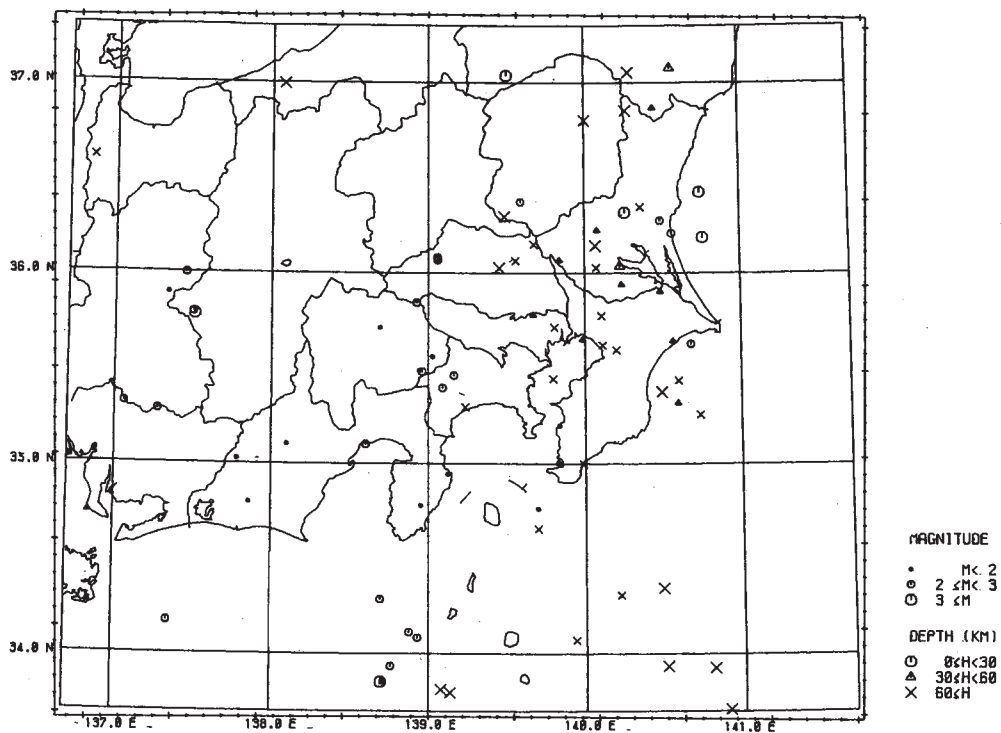
(1)

1979 12 01 - 1979 12 31 N= 71



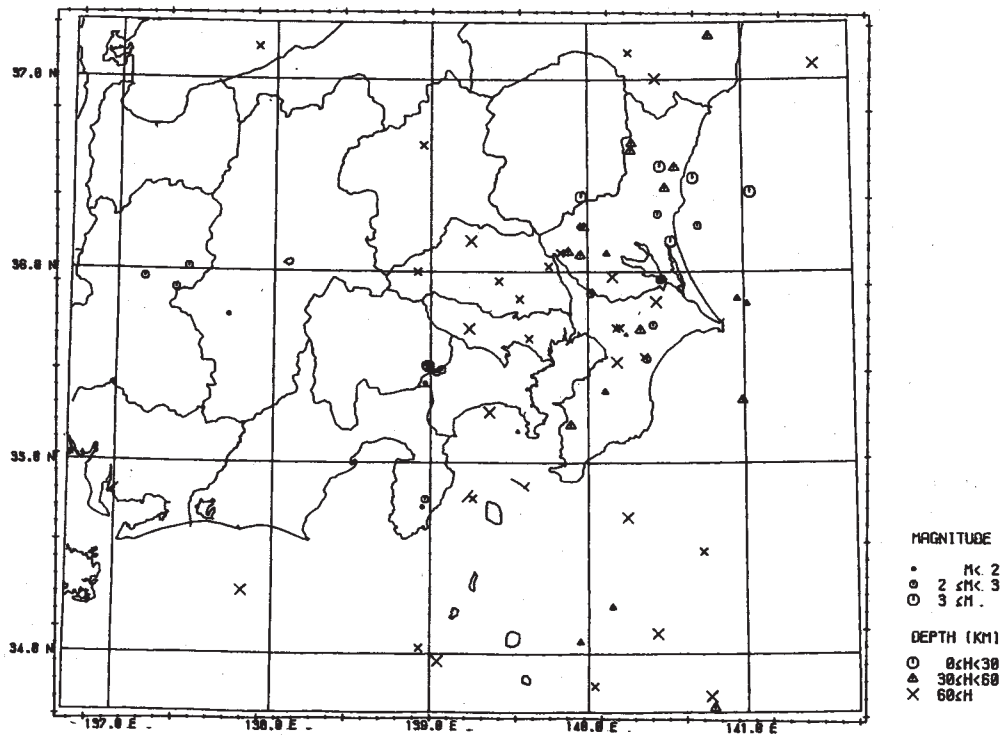
(2)

1980 01 01. - 1980 01 31. N= 83



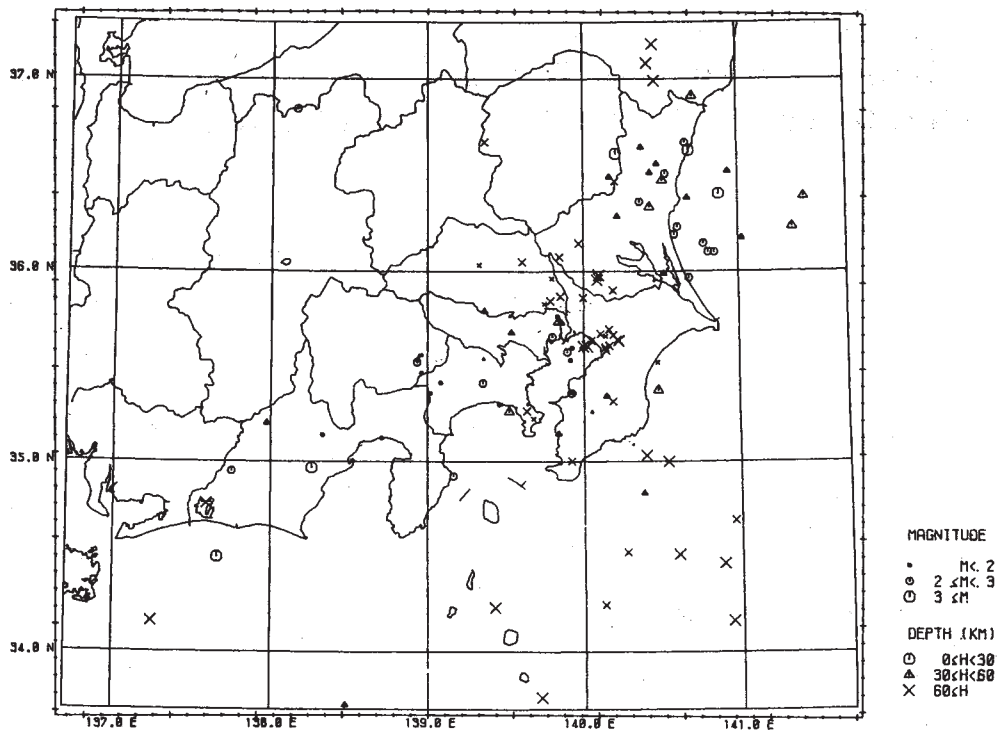
(3)

1980 02 01 - 1980 02 29 N= 77.



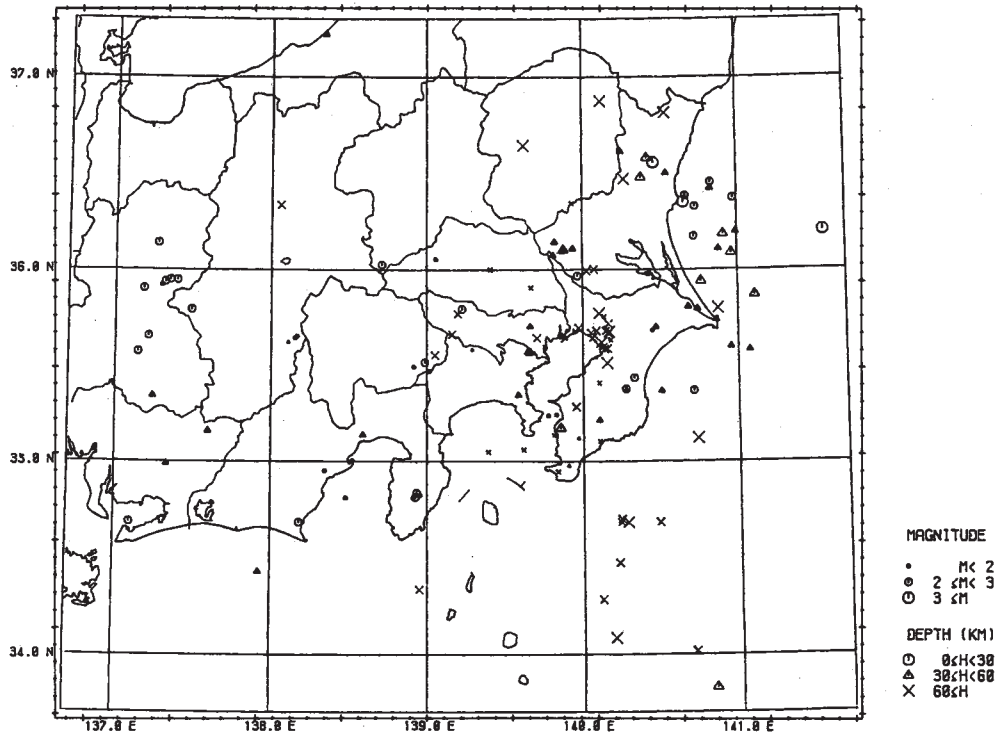
(4)

1980 03 01 - 1980 03 31 N= 112



(5)

1980 04 01 - 1980 04 30 N= 136



(6)

第3図 防災センター観測網による震源分布

Fig. 3 Hypocentral distribution determined by the NRCDP network.